

滋賀

GPN

News

第31号 2017年3月
滋賀グリーン購入ネットワーク
ニュース



滋賀GPNキャラクター エコペン



環境への負荷が小さい商品・サービスの優先的購入を進める地域ネットワーク

特集 「買うならエコ!」で、エコ市場を盛り上げよう!

第2回「買うエコ大賞」受賞者、県琵琶湖環境部長と今後の展開について語り合う

滋賀県産の優れた環境配慮商品・サービスの表彰制度「買うエコ大賞」。この第2回大会「商品・サービス部門」受賞商品には、滋賀県の代表的工芸品の信楽焼から「電気のいらない陶器の加湿器」、滋賀・琵琶湖ならではの環境学習船によるクルーズ、製材時の木くずを「もったいない」と再利用した猫のトイレ用の砂等、ユニークな商品が並びました。省資源・省エネルギーを推進し、森や琵琶湖の環境を守ることにつながる商品ばかりで、これらの商品を今後どのように市場に広げていくのかということが重要な課題です。

2017年1月、受賞者が滋賀県琵琶湖環境部長を訪問し、今後の展開について意見交換を行いました。

出席者	滋賀県 琵琶湖環境部 部長	村上 浩世 さん
	次長	石河 康久 さん
	循環社会推進課 課長	東村 弘文 さん
第2回 「買うエコ大賞」 受賞者	大賞 日産陶業株式会社 開発 代表	宮脇 由直 さん
	知事賞 琵琶湖汽船株式会社 代表取締役	川戸 良幸 さん
	会長賞 有限会社山本材木店	青木 みどり さん
	優秀賞 かたぎ古香園	片木 隆友 さん
	優秀賞 クミノ工房	代表 井上 慎也 さん
	優秀賞 株式会社古川与助商店 代表取締役	河村 朱美 さん



前列左より河村さん、青木さん、村上さん、宮脇さん、後列左より石河さん、川戸さん、片木さん、井上さん、東村さん

INDEX



●特集「買うならエコ!」で、エコ市場を盛り上げよう! 1・2・3	●滋賀GPN会員でつなぐリレートーク 滋賀建機株式会社 7
●2016年度 活動レポート 4・5	●新規会員からひとこと 7
●エコに学べ! 6	●会員発エコ活動情報 8
●ご案内 滋賀GPNの研究会活動 6	●編集後記 8

受賞者の皆さんに、商品開発への想いや今後の展開について伺いました。



宮脇さん：信楽焼が厳しい状況の中、新しい時代のニーズに合った商品を開発しようと試行錯誤を繰り返してきました。特に自分には「健康志向」の商品をつくりたいという想いがありまして。信楽焼を通じて皆さんに健康になっていただきたいと。そこで、信楽窯業技術試験場のご指導で、この加湿器を開発しました。今回「買うエコ大賞」をいただき、問い合わせも増えて喜んでいます。これを機に、さらに信楽焼をアピールしていきたいと思っています。実は今、琵琶湖のヘドロと炭化ペレットとを混ぜて除湿器を開発中で、もういっぺん買うエコ大賞にも挑戦してみようかと（笑）。



川戸さん：「megumi（めぐみ）」は船としても、「シップ・オブ・ザ・イヤー 2008」（主催：日本船舶海洋工学会）に選ばれています。今回は「megumi」を活用した環境学習の機会を提供するサービスを評価していただき、知事賞を受賞しました。沖島などにお客様を案内して琵琶湖や環境について考えてもらう機会になればと、また、琵琶湖の水源である山や森、河川を守る活動にまで広げていきたいと考えています。「買うエコ大賞」受賞を機に、淀川水系の通船とも連携しながら、琵琶湖だけでなく、琵琶湖とつながる河川の環境情報も発信していきたいと考えているところです。



青木さん：地域でエネルギーを賄う仕組みをつくろうと、数年前からペレットストーブの普及活動を始め、昨年からは自社に機械を設置して自社製のペレット燃料を販売しています。でも、ペレットは冬場だけの商品ですし、空前の猫ブームもやってきました。ホームセンターでペレットと同じ原料の猫砂が売られているのを見て、猫砂の商品化に挑戦しました。差別化を図るために薬剤をしみこませず、消臭に近江茶を使った100%天然素材の猫砂です。自社で製材の際に出る廃材や引き粉等、以前は廃棄していたものを「もったいない」と原料として活用しています。



片木さん：お客様のことを考えたお茶づくりがしたい、赤ちゃんからお年寄りまで毎日安心して飲んでもらえるようにと、40年以上前にうちの親父が「農薬不使用栽培」でのお茶づくりを始めました。初めは前例もなかったので、かなり苦労したようです。最初の3年は棒に振ったと聞いています。農薬をまったくやらない、自然回帰農法を続けていると、畑に鶯が巣を作るんですよ。鶯が子育てし、トンボが飛び光景は自然と茶畑が一体となっているからだと思います。「買うエコ大賞」の受賞により、さらにその良さを、いろんな方に知っていただきたいと考えています。



井上さん：滋賀県立大学で森林について学び、卒業後はシステムエンジニアの仕事をしていましたが、やはり森に関わる仕事がしたくて。昨年テクノカレッジ米原で木造建築を勉強した成果として「クミノ」が生まれました。日本の建物のような「木組み」の玩具ができないかと考え、暮らしから遠い存在になった森を身近にする方法がないかと考え、「あの山の木でできているんだよ」と子供たちに話せるつみ木ができました。クミノは全てのピースに産地の焼き印が入っています。地産地消モデルとして全国、そして世界に発信していきます。受賞を励みに、まずは県内から取り組みを始めます。



河村さん：いろんな素材を細くカッティングする仕事をしていますが、元々は西陣織の金糸・銀糸を作っている会社でした。当社のある大津市の桐生は、古くは和紙の産地でした。端材の和紙を燃やしたらどうなるだろうと実験で作った糸で、帯を作ってみたら意外にも好評で。そこでブラウスを作って着ていたら、和紙素材が珍しいとジャケットをオーダーしてくださる方がいらして。そこから口コミで広がり、県内経済界の方を中心に、今では80着以上もオーダーメイドで作らせていただきました。今後の展開として、和紙の産地だった桐生に今またミツマタやコウゾを植えて、引きこもりの若者たちを集めて働く場所を提供したいという想いがあるんです。

滋賀県 琵琶湖環境部の皆さんに、受賞者との意見交換を通して感じられたことについて伺いました。

村上さん：「買うエコ大賞」の商品・サービス部門の評価基準は、環境配慮性、地域性、獨創性、共感性ということですが、この言葉に留まらない、皆さんの「熱い想い」が届いたからこそ、今回の受賞につながったのではないかという気がいたします。地域に密着していて、正に「滋賀らしい」というところにも非常に感銘を受けました。県琵琶湖環境部といたしましても、このような素晴らしい取り組みが益々広がるよう、滋賀GPNさんとも連携して、様々な機会を活用しながら、情報発信に協力させていただきたいと思っております。皆さん、ありがとうございました。



石河さん：お話を伺っていて、それぞれいろんな観点からの広がりがある商品、そして取り組みだと思い、感慨深く聞かせていただきました。河村さんがお話されていた「引きこもりの子どもたちの居場所づくり」、宮脇さんがお話された、開発の裏側にある「信楽焼と健康づくり」について、川戸さんの「琵琶湖だけでなく、山や河川とのつながり」のお話など、ひとつの商品の説明だけではなく、商品から始まる様々な広がりのお話を、非常に頼もしく感じつつ聞かせていただきました。今日はありがとうございました。



東村さん：私は担当が廃棄物なので、そちらの観点からお話を聞かせていただいていたいました。宮脇さんが開発中の「琵琶湖のヘッドロを使った除湿器」のお話も、今後が楽しみだなあと聞いて聞かせていただきました。猫砂「木にゃん」は、不要になったものを活用して商品化されているというところが、やはり一番興味深い製品だと思っております。地域の杉材を使ったクミノ、和紙から洋服など、未利用だった原材料をうまく活用して商品を作り、その商品が売れることが地域活性化にもつながる、循環型社会の構築を目指す上でとても望ましい姿だと思っております。今後ますます活躍していただきたいです。



第2回買うエコ大賞「商品・サービス部門」受賞商品の紹介

大賞



電気の
いらない
陶器の
加湿器

日産陶業株式会社
滋賀県甲賀市信楽町江田 589

**滋賀県
知事賞**

日本初の軽合金製トリマラン
[三胴]型クルーズ船
「megumi」による
湖上&湖上を結ぶ
体験クルーズ



琵琶湖汽船株式会社
滋賀県大津市浜大津 5-1-1

**滋賀GPN
会長賞**

こにゃんの
ねこ砂
木にゃん



有限会社 山本材木店
滋賀県湖南市西寺二丁目 4-13

優秀賞

農薬
不使用
栽培
朝宮茶



かたぎ古香園
滋賀県甲賀市信楽町宮尻 1090

優秀賞

きぐみの
つみき
クミノ
[KUMINO]



クミノ工房
滋賀県東近江市箕川町 107

優秀賞

和紙糸で
作る
自分色の
ジャケット



株式会社 古川与助商店
滋賀県大津市相生 3-12-1



2016年度 活動レポート

滋賀GPNは、2016年度も様々な事業を実施しました。その一部をご紹介します。

※主催者の記載がない事業は、滋賀GPN主催

滋賀の企業の環境貢献活動 はじめの一步 セミナー

- 開催日：2016年6月10日(金) ●参加者：71名
- 主催：マザーレイクフォーラム運営委員会・滋賀GPN生物多様性とCSR研究会
- 後援：湖南・甲賀環境協会・(公社)滋賀県環境保全協会・草津市・滋賀県

株式会社伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 笹谷秀光さんの基調講演と、株式会社琵琶湖ホテル、株式会社ノエビア滋賀工場、滋賀建機株式会社、株式会社日吉、滋賀県琵琶湖保全再生課の報告に続いて、「はじめの一步～わが社にもできる環境活動とは？」をテーマに参加者全員でグループディスカッションを行いました。



「びわ湖環境ビジネスメッセ2016」出展・参加

- 開催日：2016年10月19日(水)～21日(金)
- 会場：長浜バイオ大学ドーム(長浜市)

「第2回買うエコ大賞」のノミネート商品6点を展示して来場者投票を行い、滋賀県会計管理局管理課ブースと連携してPRに努めました。また、会場に出展する会員44団体が自社ブースに「滋賀GPNシンボルマーク」を掲示し、グリーン購入の普及啓発を連携して実施しました。



グリーン購入フォーラム2016 in 滋賀 ～びわ湖から始めよう!「三方よし」なモノづくりとは～

- 開催日：2016年10月21日(金) ●参加者：97名
- 主催：びわ湖環境ビジネスメッセ実行委員会・滋賀GPN
- 後援：滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター・GPN・京都GPN・みえGPC

びわこ成蹊スポーツ大学学長(前滋賀県知事)嘉田由紀子さんの基調講演「琵琶湖をはじめとする滋賀県の環境問題とその歴史～ビジネスメッセでどう変わったか～」、滋賀県立大学工学部教授徳満勝久さんの基調報告「これからの社会を創る『三方よし』なモノづくりについて」に続いて、「第2回買うエコ大賞」にノミネートされた6者(P1参照)に事例報告を行っていただきました。



地域エネルギー交流見学会 ～新しいエネルギー社会の実現に向けて～

- 開催日：2016年11月16日(水) ●参加者：36名

食とエネルギーとケアを地域で自給する仕組みを確立されている東近江市愛東地区を訪ね、「しがエネルギービジョン」を基に、これからの企業経営や暮らしのあり方について考えました。あいとうふくしモール、あいとうエコプラザ菜の花館、薪遊庭を見学させていただき、特定非営利活動法人菜の花プロジェクトネットワーク代表 藤井絢子さんと薪遊庭代表 村山英志さんによるエネルギーの地域自立に関するご講演も拝聴しました。実際に「薪割り」を体験できたことも参加者に好評でした。

※平成28年度滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金により開催しました。



三方よしエコフェア2016 ～子どもたちの未来のために、食とエネルギーとエコを考えよう!～

- 開催日：2016年12月3日(土) ●来場者：約1000名
- 主催：滋賀GPN ●後援：滋賀県・大津市

ピアザ淡海3階 大会議室を会場に、43団体の出展者がエコ商品の展示・販売やワークショップを実施しました。ワークショップでは、主として子どもたちを対象とする各種の楽しい工作教室の他、滋賀の伝統的な家庭料理の紹介、県内農産物の自給率や生きものと田んぼの関係など「食」について学べるブース、木質ペレットストーブや太陽光など再生可能エネルギーについて学べるブースが並びました。環境パフォーマー「らんま先生」によるショーも好評で、会場は親子連れで賑わいました。ステージでは、「買うエコ大賞」表彰式も実施しました。



エネルギー自治推進フォーラム ～地域から広がる『新しいエネルギー社会』づくり～

- 開催日：2016年12月3日(土) (三方よしエコフェアと同日開催)
- 来場者：約100名 ●主催：滋賀県・滋賀GPN

原発に依存しない新しいエネルギー社会の実現に向けて、県内で精力的に取り組まれている、NPO 碧いびわ湖 代表理事の村上悟さん、こにゃんの森 エネルギー研究会 吉本智さん、生活協同組合コープしが 副理事長 小澤郁乃さん、ヤマムログループ営業統括部 三宅直子さん、株式会社滋賀銀行県庁支店 稲荷智子さんの活動紹介と滋賀県エネルギー政策課の報告の後、滋賀GPN理事でもある村上悟さんのコーディネートでディスカッションし、エネルギー分野からの地域活性化について考えました。



自治体のグリーン購入担当者連絡会議・自治体地域エネルギー会議

- 開催日：2017年1月25日(水) ●参加者：24名

恒例の自治体担当者会議に引き続き「自治体地域エネルギー会議」を開催し、特定非営利活動法人気候ネットワークの豊田陽介さんの講演、湖南省のエネルギー政策に関する報告、滋賀県の電力グリーン入札に関する報告から、エネルギーのグリーン購入について共に学びました。

※自治体地域エネルギー会議は、平成28年度滋賀県地域エネルギー活動支援事業補助金により開催しました。



生物多様性と環境・CSR研究会 2016年度セミナー

- 開催日：2017年2月9日(木) ●参加者：45名

平安女学院大学 准教授の山本芳華さん、株式会社地域環境計画 技術統括部長の増澤直さんの講演、滋賀県中小企業家同友会 相談役理事の坂田徳一さんの報告と、琵琶湖環境科学研究センター 宮永健太郎さんコーディネートによるディスカッションで、企業活動と生物多様性について考えました。



GPプラン滋賀 支援プログラム ●主催：滋賀県・滋賀GPN ●12回の延べ参加者数：336名

グリーン購入基礎研修会を4回、様々な講師による実践講座を8回開催しました。
(写真は主な講師の紹介)



4/13 アミタ(株)
代表取締役
佐藤徳之さん



7/28 滋賀県
エネルギー政策課
中嶋洋一さん



8/30 「エンカール購入の動機」
東京大学名誉教授
山本良一さん



10/4 滋賀県温暖化防止活動
推進センター
キャリアアドバイザー 来田博美さん



11/25
ヨコタ農園 横田尚美さん(左)、
食ま5アグリジャーソン 渡辺維子さん



2/23 滋賀県立
大学名誉教授
秋山道雄さん

エコに 学べ!

産廃管理は 企業コンプライアンスの扇のカナメ

ゼロエミッション研究会 リーダー **松宮 秀典**
(旭化成住工株式会社 RC管理部環境安全課 担当課長)

皆さんは「WDS」
をしっかりと作成し、
提示されていますか？

昨年、産業廃棄物
処理業者のD社が食
品廃棄物の横流しをし
た事件は、企業の廃
棄物担当者だけでなく一般社会にも大きな衝撃
を与えました。この事件では、排出事業者のI社
は特に責任を問われませんでした。一步間違
えば会社の存続に危機を及ぼしかねない状況に
なっていたかも知れません。まさに廃棄物管理
は、企業にとってコンプライアンスの扇のカナメ
とも言うべき存在になっています。

滋賀GPN「ゼロエミッション研究会」では、
昨年、水銀に関する水俣条約の批准に伴って、
現状の蛍光管の処分方法に問題が生じるのでは
ないかとのメンバーの意見に着目し、条約の発
効に先んじて一般社団法人蛍光管リサイクル協
会様と共に、蛍光管の適正処分を行う野村興産
株式会社 関西工場様の見学会を実施するなど、
新しい廃棄物処理の動向に向けたユニークな活
動を提案・実施しております。



廃棄物処理には専門的知識が必要で、法規制
への対応も年々複雑化しています。冒頭の
「WDS」は廃棄物データシートのことですが、
産廃担当者是对応に頭を抱えているかも知れま
せん。「ゼロエミッション研究会」には、経験豊
富な企業の産廃担当者が揃っています。一人で
悩まずに、是非、研究会にいらしてください。



2016年8月24日 野村興産様見学会の様子

※「ゼロエミッション研究会」に関する
お問い合わせは滋賀GPN事務局まで

滋賀GPN事務局

住所：滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階
TEL：077-510-3585 FAX：077-510-3586
Eメール：sgpn@oregano.ocn.ne.jp



ご案内

滋賀GPNの研究会活動

滋賀GPNには、会員が自由に参加でき、共に活動する「研究会」があります。
興味がおありの活動に、ぜひ積極的にご参加ください。また、新たな研究会の立
ち上げも歓迎いたします。詳細は事務局までお問い合わせください。



活動中の研究会

食のグリーン購入研究会

ゼロエミッション研究会

エコ通勤研究会

生物多様性と環境・CSR研究会

MORIとくらしの研究会

Relay
Talk

滋賀GPN会員でつなぐ

リレートーク>>>

滋賀建機株式会社

専務取締役 蔭山 大輔



弊社は昭和46年に建設機械の販売会社として近江八幡市西生来町にて設立致しました。その後、工事部門を新設、愛知郡愛荘町にサービス工場を建設して本格的に建設機械のレンタルに進出しました。現在では各部門を分社化し、滋賀建機グループとして6社に分かれて運営しております。滋賀建機では、建設機械・林業用機械・一般産業用機械のレンタル・販売・修理・車検、Bリーグをはじめとするイベントの会場設営、映画の撮影支援、太陽光発電システム販売・設計・施工、ゴルフ練習場等の事業を行っており、特に建機事業では県内8営業所と本店サービス工場と県下9拠点のネットワークで日々の縁の下の力持ちとして頑張っております。

【グループ会社】 滋賀基礎工業株式会社、エスケイビルド株式会社、エスケイ運輸株式会社
株式会社彦根通信、戸狩温泉スキー場株式会社

滋賀建機の環境に対する取り組みとしては、滋賀県が推奨する森林保全の為に、琵琶湖森林づくりパートナー協定を地元愛荘町の秦川山生産森林組合様と平成25年6月に締結させていただきました。5年間の取り組みとして、桜、ヒノキ、スギの植栽を社員と組合員様とで協力して行っております。また、林業体験としてスギの木の伐倒作業等も行っております。

建機事業の方でも、林業の機械化が進むにあたって、県行政と各森林組合と協議を重ねながら、林業用高性能機械の実演会や、林業用機械のレンタル化に向けて取り組んで参りました。

他に地域社会貢献事業として、2年に一度、元プロ野球選手をお招きして地元の少年野球の子どもたち



森林保全活動時の記念写真



森林保全活動には親子連れも参加



プロ選手を招いて少年野球教室



太陽光発電システム施行例

200名を招待し、少年野球教室の開催を行っております。昨年で5回目を迎えることができました。今後も、会社を通じて滋賀県の環境保全に携わり、地域社会の発展と環境経営に責任を持ち、地域に必要な企業を目指して、持続可能な社会づくりに貢献して行きたいと考えております。

次回は株式会社エフアイさんをお願いします。

滋賀建機株式会社

滋賀県愛知郡愛荘町中宿 160-1

TEL : 0749-42-8668 FAX : 0749-42-8678

URL : <http://www.sk-grp.co.jp>新規会員から
ひとつこと

2016年8月1日から2017年2月20日までの入会者
(団体名の50音順)

有限会社 浦田

代表取締役 西野 貢司

弊社は滋賀県下に日用雑貨を販売しています
卸売りです。お客様に、再生素材の商品やエコ
マーク入り商品を推奨しています。

熊谷電工株式会社

営業部 課長 平塚 重樹

電気設備工事事業を通じて、お客様と地域の
皆様から親しまれ信頼される企業として、CSR
行動原則に基いた取組に推進します。

日産陶業株式会社

開発 代表 宮脇 由直

信楽焼の製造販売に日夜頑張っております。特に
「買うエコ大賞」に選ばれた「電気のいらぬ陶器
の加湿器」を滋賀の代表的な工芸品として宜しく。

丸松木材株式会社

代表取締役 松田 充弘

「彦根のまちからずっと」とを合言葉に、木
材の利用が、暮らしを豊かにするだけでなく地
域の環境貢献になると考え行動しています。

公益財団法人滋賀県体育協会

理事長 木村 孝一郎

(公財) 滋賀県体育協会は県民に夢と感動を与え、
県民のスポーツ活動を推進する団体として、環境
への取り組みを高い意識をもって進めています。

現会員数：468 団体 [企業389、行政21、団体58] (2017年2月20日現在)



会員発エコ活動情報

次号掲載
「エコ商品情報」
募集中!

第2回買うエコ大賞「環境活動表彰」受賞者

※今号では「エコ商品情報」をお休みして第2回買うエコ大賞 活動部門「環境活動表彰」受賞者をご紹介します。

近江の古民家再生～「ひやくちよう大津百町スタジオ」プロジェクト～

株式会社 木の家専門店 谷口工務店 (滋賀県蒲生郡竜王町山之上3409)

JR大津駅前の「百町商店街」に建つ築100年を超える古い町屋を改修し、ショールーム兼地域のコミュニティスペースとしてリニューアルオープン。「ものを大切に作る心」「家を大切に、長く住み継ぐ文化」を提案し、近江の歴史ある古民家を未来へ伝える活動。



滋賀県産・木質系バイオマス燃料の普及活動でエネルギー自給自足を実現!(こにゃんの森エネルギー研究会)

有限会社 山本材木店 (滋賀県湖南市西寺二丁目4-13) 株式会社 ベストハウス (滋賀県栗東市小野1007-3)

製材時や建築工事時に発生する端材・林地残材・間伐材等を粉碎・成形した木質ペレット燃料の利用促進を地域の環境・経済・雇用・エネルギー問題の解決につなげようと、「ゆるやかにつながる環境ビジネスネットワーク」を滋賀GPN会員で構築した。



ちずたびびわ湖一周 自転車BOOK(ピワイチ公式ガイド)の発行を通じた、滋賀・琵琶湖の環境・観光情報の発信による、交通のエコロジー化の促進

輪の国びわ湖推進協議会 (滋賀県守山市梅田町3-6南井産業第1ビル)

自転車で琵琶湖を一周する「ピワイチ」等のサイクルツーリズムを進めるため、実走調査により選定した21コースと、名所旧跡からグルメ、自転車店・レンタサイクル店など幅広い情報を掲載した本を出版。これを通じて日常での自転車利用を促進し、滋賀交通のエコロジー化をめざす。



編集後記

2017年2月9日(木)、滋賀GPNの『生物多様性と環境・CSR研究会』が主催するセミナーを開催しました。この研究会では、これまで以下の3点を目的として、セミナー等を開催してきました。

- 1.生物多様性の基礎知識を学ぶこと
- 2.生物多様性を中心とした、環境保全活動の最新動向を知ること
- 3.企業間の交流

今回が第3回目のセミナーとなり、「企業が取り組むべき生物多様性保全とは何か?」と題して、基調講演、パネルディスカッションを実施しました。基調講演①では、ISO14001 2015年度版の改定内容に絡めて、生物多様性保全が各企業のリスクにもなり早い段階で行うことで機会(チャンス)にもなり得る。(平成女学院 准教授 山本 芳華氏) 基調講演②では、工場緑地の役割の変化、工場緑地からはじめる生物多様性(草木を残す→水辺をつくる→エコトーンをつくり→つなげ広げる)等の事例紹介がありました。(株式会社地域環境計画 増澤 直氏)

今後も当研究会で、生物多様性保全に関するセミナーやイベントを企画する予定です。滋賀県の生物多様性保全を会員の皆様と一緒に盛り上げて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(幹事・生物多様性と環境・CSR研究会リーダー/㈱ダイフク 横地 富重)

滋賀県における「グリーン購入」の基本的な考え方は、「滋賀県グリーン購入基本方針」に記載されています。しかし、どれだけの職員がこのような認識を持っているのかな、と不安になることがあります。

「GPプラン滋賀」を滋賀GPNとともに運営している中で、事業者さんの生の声を聴く機会が多くあります。その中でよくあるのが、「グリーン購入に関する認識が、県と市町とで異なるのは分かるが、県の中でも所属や職員によって違う場合があるのはどうなの?」という問いです。こう言われると、何も答えられませんでした。県との取引実績の豊富な滋賀GPNの会員さんだからこそのご指摘です。

会計管理局では毎年度、新規採用職員研修や会計の研修においてグリーン購入の実務について説明していますが、このような研修を実施しなければならないこと自体が、まだまだ取り組むべきことがある証拠ではないのかなと感じています。

呼吸をするのと同じように、誰もが当たり前グリーン購入を実践しており、滋賀GPNの役割なんてもうこの世の中にないよ、と言われるようになる時まで、これからも皆さんとともに活動していきたいと思えます。

(幹事/滋賀県 会計管理局 管理課 寺村 功)



編集・発行 / 一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階 TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586
Eメール:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:http://www.shigagpn.gr.jp/